

IX. 留 学 制 度

【1】 海外留学制度

1. 海外留学 —なぜチャレンジするか—

本学には、非常に充実した留学制度があり、みなさんのチャレンジを待っています。

では、なぜ留学にチャレンジするのでしょうか。留学には次のようなメリットがあるからです。

- ・異文化の中に身を置くことにより、新たなものの見方、考え方が身に付きます。
- ・言葉の問題など様々な苦勞を乗り越えることにより、人間的に成長します。
- ・言葉を超えて他の人々と交流することで、より高いコミュニケーション能力が得られます。
- ・留学先の語学が身に付き、日本以外の国の人々とも堂々と渡り合っていけるようになります。

この他にも、多くのメリットがあります。留学は究極の体験型学習です。ぜひチャレンジしてください。

2. 海外留学できる大学について

留学には、大きく分けて、長期留学と短期留学の2つがあり、下記の大学に留学することができます。

長期留学対象校（2015年4月1日現在）

国	留学対象校	期間	時期
英 国	エセックス大学	1年間	4月～翌年3月
	バーミンガム大学	1年間	4月～翌年3月
	ロンドン大学 SOAS	1年間	4月～翌年3月
アメリカ合衆国	セント・マイケルズ大学	1年間	4月～翌年3月
	カリフォルニア州立大学 イースト・ベイ校	半年間/1年間	4月～9月/4月～翌年3月
オーストラリア連邦	モナシュ大学	半年間	9月～翌年3月
ドイツ連邦共和国	ミュンヘン大学	半年間/1年間	4月～9月/4月～翌年3月
フランス共和国	アンジェ・カトリック大学	半年間/1年間	9月～翌年3月/9月～翌年7月
スペイン王国	サラマンカ大学	半年間/1年間	4月～9月/4月～翌年3月
中華人民共和国	聊城大学	半年間/1年間	4月～7月/4月～翌年3月
大 韓 民 国	延世大学	半年間/1年間	4月～8月/8月～12月/ 4月～12月/9月～翌年7月

※ミュンヘン大学、聊城大学、延世大学とは交換留学を行っています。

短期留学（海外語学演習）対象校（2015年4月1日現在）

国	留学対象校	期間	時期
アメリカ合衆国	カリフォルニア州立大学 イースト・ベイ校	5週間	7月末～8月末
オーストラリア連邦	モナシュ大学	3週間	9月
オーストリア共和国	ウィーン大学	4週間/3週間	8月/9月
フランス共和国	ソルボンヌ大学	4週間	8月
	アンジェ・カトリック大学	4週間	8月
スペイン王国	サラマンカ大学	4週間	8月
中華人民共和国	北京師範大学	2～3週間	8月/9月
台 湾	国立台湾師範大学	3週間	8月
大 韓 民 国	延世大学	3週間	8月

3. 長期留学

(1) 留学に対する様々な支援

長期留学は、半年から1年間、海外の大学が提供するプログラムに所属して学ぶというものです。長期留学には、**交換留学制度**と**派遣留学制度**がありますが、本学からの留学に関しては特に違いはありません。

本学は、みなさんが安心して長期留学ができるように、次のようなサポートを提供しています。本学ほど充実したサポートは、他大学ではほとんど見られません。

- 留学先の授業料は本学が負担します。本学の授業料を納めるだけで留学できます。
※本学の学費は支払う必要があります。また、宿泊費や生活費は個人負担となります。
- 留学期間も本学で学んだ期間に算入されます。4年間で無理なく卒業することが可能です。
- 留学先での学習内容が本学の単位として認定され、1年間の留学では、40単位まで単位を取得することができます。半年間の留学では、20単位程度まで単位を取得することができます。
- 海外留学保険には個人で加入してもらいますが、24時間サポートなどの追加の費用を大学が負担します。
- その他、様々な支援を受けることができます。

(2) 長期留学応募資格

長期留学応募資格は下記のとおりですが、詳しいことは、国際交流課に問い合わせてください。

- ① 長期留学する時点で、すでに本学において1年以上修学していることが条件となります。
- ② 必要単位数を修得見込みであること。

1年次終了時		2年次終了時		3年次終了時	
法学部	40単位	法学部	80単位	法学部	110単位
経済経営学部	40単位	経済経営学部	80単位	経済経営学部	110単位
メディア情報学部	36単位	メディア情報学部	72単位	メディア情報学部	108単位
現代文化学部	34単位	現代文化学部	72単位	現代文化学部	102単位
心理学部	30単位	心理学部	70単位	心理学部	100単位

- ③ 基本的に各年次必修科目の単位を修得見込みであること。
- ④ 本学における成績のGPAが2.5以上（経済経営学部は平均以上、心理学部は2.0以上）であること。

(英語圏に長期留学する場合)

- ⑤ 指定された英語力を測るテストで、規定の点数を獲得すること。

※どのようなテストで何点が要求されているのかをきちんと調べ、時間的に余裕をもって受験し、必要とされるスコアを手に入れるよう努力してください。

(英語圏以外の国に長期留学する場合)

- ⑤ 留学先の言語を担当する本学の教員の**推薦**を受けること。

※留学を希望する人は、できるだけ早く当該言語の担当教員に相談するようにしてください。

4. 短期留学

短期留学は、「海外語学演習」(4単位)として実施されます。夏休みに、3週間程度、海外の提携大学等で外国語を学びつつ、異文化の中での生活を体験してもらう制度です。

履修登録等必要な手続き等を行うことにより、原則として希望者は全員参加することができます。参加を希望する人は、学期初めのガイダンスに必ず出席してください。

なお、この留学の費用は、自己負担となります。

5. 英語力を測るテストについて

英語圏に長期留学する場合、下記の英語力を測るテストを受験して必要とされるスコア、レベルを獲得する必要があります。

(1) TOEIC

TOEIC (Test of English for International Communication) は、英語を母国語としない人びとを対象とした、英語によるコミュニケーション能力を検定するための試験です。リスニングとリーディングの力が測定されます。

このテストは、東京、埼玉であれば、ほぼ毎月受検できます。ただし、受検するためには、一か月以上前に申込みする必要がありますから、しっかりと予定を立てて受験するようにしてください。

TOEICには、通常のTOEIC、入門レベルのTOEIC Bridge、スピーキングとライティングの能力を図るTOEIC SWの三種類のテストがあります。みなさんは、通常のTOEICテストを受検してください。

詳細は、TOEICのサイト (<http://www.toEIC.or.jp/>) で確認してください。

(2) TOEFL

TOEFL (Test of English as a Foreign Language) は、英語を母国語としない人びとを対象に、特に英語圏の大学等に留学するための英語力を測る試験です。

現在実施されているのは、コンピュータを用いるTOEFL iBT (Internet-Based Test) で、大学レベルの英語能力を、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの各スキルを組み合わせた形で測定します。TOEFL iBTは、米国の大学に正規に留学するためには必要なテストですが、かなり難しいテストですので、TOEICを受検することを勧めます。

学内で、マークシートを用いるTOEFL ITP (Institutional Testing Program) が実施される場合は、ぜひそれを受検してください。ITPは、①Listening (聞き取り)、②Structure (構文)、③Reading (読解) の3つのセクションからなります。

(3) 英検について

英検は年に3回試験が行われます。この試験を受験するには各人が申込手続きを行い、定められた試験会場で受験する必要があります。詳細は英検のホームページを見てください。

英検で準2級を得ている人も、TOEICまたはTOEFLを受験するようにしてください。

留学制度の詳細については、**国際交流課**にお問い合わせください。

【2】 国内留学制度

1. 国内留学について

本学は、地域社会に貢献する人材の育成を教育目標に掲げています。国内留学制度は、本学が位置する首都圏以外の地域社会で、それぞれの地域の文化や歴史に触れ、地域社会の様々な年代層の人々と交流することを通じて、日本の地域社会の現状と課題を経験する機会を得ることを目的としています。また、他大学という異なる環境に身を置くことにより、自立した生活力や幅広い視野を獲得することが期待されます。

2. 国内留学できる大学について

現在のところ、北海道の私立北星学園大学に留学することができます。

私立北星学園大学 <http://www.hokusei.ac.jp>

所在地：北海道札幌市厚別区大谷地2-3-1

本学での所属学部により、留学先学部が以下のとおりとなります。

本学所属学部・学科	留学先学部・学科	募集人数
法学部法律学科	経済学部経済法学科	若干名 (5名程度)
経済経営学部経済経営学科	経済学部経済学科 経済学部経営情報学科	
現代文化学部現代文化学科	文学部英文学科	
心理学部心理学科	文学部心理・応用コミュニケーション学科 社会福祉学部福祉心理学科	

*メディア情報学部は単位認定可能な留学先(学部学科)が存在しないため募集は行いません。

留学期間 (1) 4月～9月(春学期)又は10月～3月(秋学期)の半年間。

(2) 4月～翌年3月の1年間。

国内留学については、本学が留学希望者の中から選考を行い、5名程度の学生を派遣する制度です。本学は、みなさんが安心して1年間あるいは半年間の留学ができるように、さまざまなサポートを行っています。

- 国内留学期間中、留学先の授業料は本学が負担します。みなさんは、本学の授業料を納めるだけになります。
- 留学先で受講した科目は本学の単位として認定され、1年間の留学では、40単位まで単位を取得することができます。半年間の留学では、20単位まで単位を取得することができます。
- 上記の単位認定に加えて、国内留学期間も本学で学んだ期間に算入されます。4年間で無理なく卒業することが可能です。

このように、さまざまな好条件を備えた本学の国内留学制度を、ぜひ利用しましょう。異なる大学で学び、異なった地域で生活することによって、実社会で役に立つ力と豊かで幅広い見識を身につけてくれることを願っています。

3. 国内留学応募資格

国内留学応募資格は下記のとおりですが、詳しいことは、教務課に問い合わせてください。

- ①長期留学する時点で、すでに本学において1年以上修学していることが条件となります。
- ②必要単位数を修得見込みであること。

1年次終了時		2年次終了時		3年次終了時	
法学部	40単位	法学部	80単位	法学部	110単位
経済経営学部	40単位	経済経営学部	80単位	経済経営学部	110単位
現代文化学部	34単位	現代文化学部	72単位	現代文化学部	102単位
心理学部	30単位	心理学部	70単位	心理学部	100単位

- ③基本的に各年次必修科目の単位を修得見込みであること。
- ④本学における成績のGPAが2.5以上（経済経営学部は平均以上、心理学部は2.0以上）であること。

4. 国内留学するために何が必要か

国内留学中、さまざまな相談にのってくれる本学教員の**推薦書**が必要になります。留学を希望する人は、できるだけ早く、担当してくれる教員に相談するようにしてください。

国内留学先の大学での勉学を充実させるために、十分な履修計画が必要です。他大学という異なる環境に身を置くことにより、精神的成長・自立を促進するためにも履修計画をしっかりとたててください。

国内留学制度の詳細については、**教務課**に問い合わせてください。

